

マテリアリティ

当社グループはサステナビリティ経営を通して、企業価値向上を追求しています。事業と社会の持続的な発展を目指し、「マテリアリティ(サステナビリティ重要課題)」を特定しています。

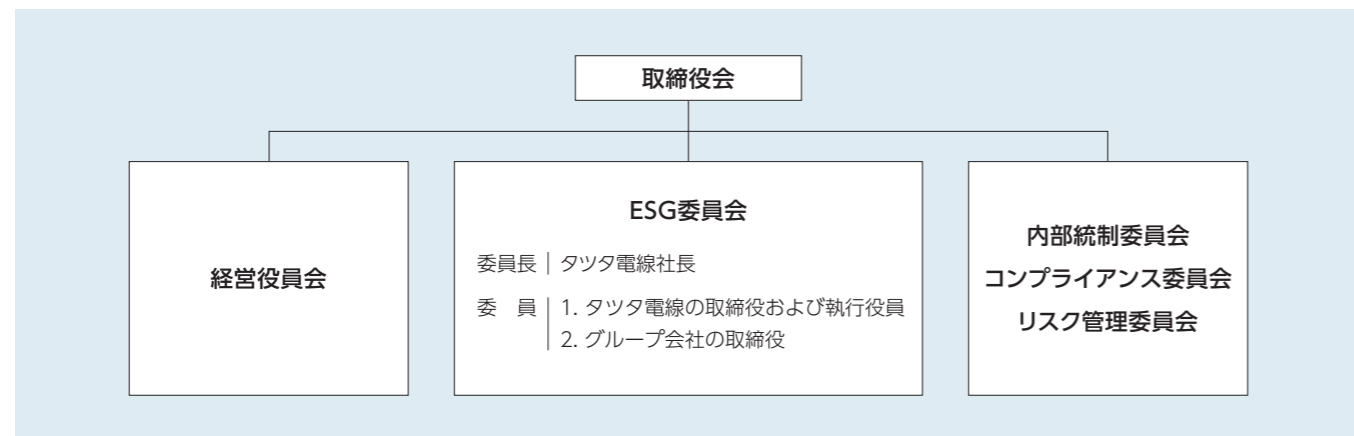
■ マテリアリティ特定プロセス

2020年にサステナビリティ活動全体を統括する「ESG委員会」を発足し、当社グループのマテリアリティ(サステナビリティ重要課題)を特定しました。今後も定期的にマテリアリティを検証します。



■ サステナビリティ推進体制

当社グループはサステナビリティ経営を横断的に推進するため、代表取締役社長が委員長を務める「ESG委員会」を設置しています。「ESG委員会」を「経営役員会」「内部統制委員会」等と並ぶ代表取締役社長直轄の会議体と位置づけています。事務局である総務人事部・経営企画部が各事業部門と連携して、サステナビリティに関する目標設定や進捗状況のモニタリング、達成内容の評価等を行っています。



■ タツタ電線グループのマテリアリティ

	マテリアリティ	具体的取り組み事項	KPIと目標	SDGsとの関係
環境	地球環境保全への貢献 (気候変動対応を含む)	■ 製品・サービスの環境負荷低減	1 環境配慮型製品・サービスの開発	
		■ リサイクルの推進	2 再資源化率 95% 以上	
		■ 省エネルギーの推進	3 省資源・省エネルギー投資の促進	
		■ 省エネルギーの推進	4 エネルギー使用合理化期待効果 1% 以上削減 ※2022年度は単年度で集計。2023年度よりKPIを見直し、3カ年平均でモニタリングしています。	
		■ 省エネルギーの推進	5 製品原単位あたり使用エネルギー 1% 以上削減	
		■ カーボンニュートラルの推進	6 CO ₂ 排出量 2025年ネットゼロ (Scope1および2、国内事業所・関係会社を対象)	
社会	社会に役立つ先端的かつ高品質な製品・サービスの提供	■ 社会課題・顧客ニーズにマッチした製品・サービスの開発	1 社会課題の解決に関連する製品・サービスの開発	
		■ 品質保証体制・BCP体制の強化	2 顧客満足度の向上	
		■ 安全衛生諸施策の推進	3 BCP・BCMSの着実な運用	
	安全で働きがいのある職場の実現	■ 持続的成長を担う人材の育成	4 重大災害ゼロ、休業災害ゼロ	
		■ ダイバーシティ&インクルージョンの推進	5 年休取得率の向上 80% 以上	
		■ 安全衛生諸施策の推進	6 教育研修の充実	
		■ 持続的成長を担う人材の育成	7 障がい者雇用率の維持・向上 2.3% 以上	
	人権の尊重	■ 人権尊重のための啓発活動推進	8 女性従業員の採用割合 25% 以上	
		■ 良好なコミュニケーションの維持	9 女性管理職比率 2025年度末 10% 以上	
		■ 地域振興・次世代育成活動への貢献	10 人権教育受講推進	
地域社会との共存共栄	■ 良好なコミュニケーションの維持	11 地域コミュニティとの対話の継続		
	■ 地域振興・次世代育成活動への貢献	12 地域の次世代育成プログラムへの貢献		
ガバナンス	コーポレートガバナンスの徹底	■ コーポレートガバナンスガイドラインに基づく事業運営	1 コーポレートガバナンス・コードへの継続的な対応	
		■ 各種マネジメントシステムの着実な運用 (リスクマネジメントシステムを含む)	2 全社的マネジメントシステムの着実な運用 (リスク、品質・環境、情報等)	
		■ コンプライアンス教育・研修の強化	3 コンプライアンス研修受講推進	
		■ 内部通報制度の活用		